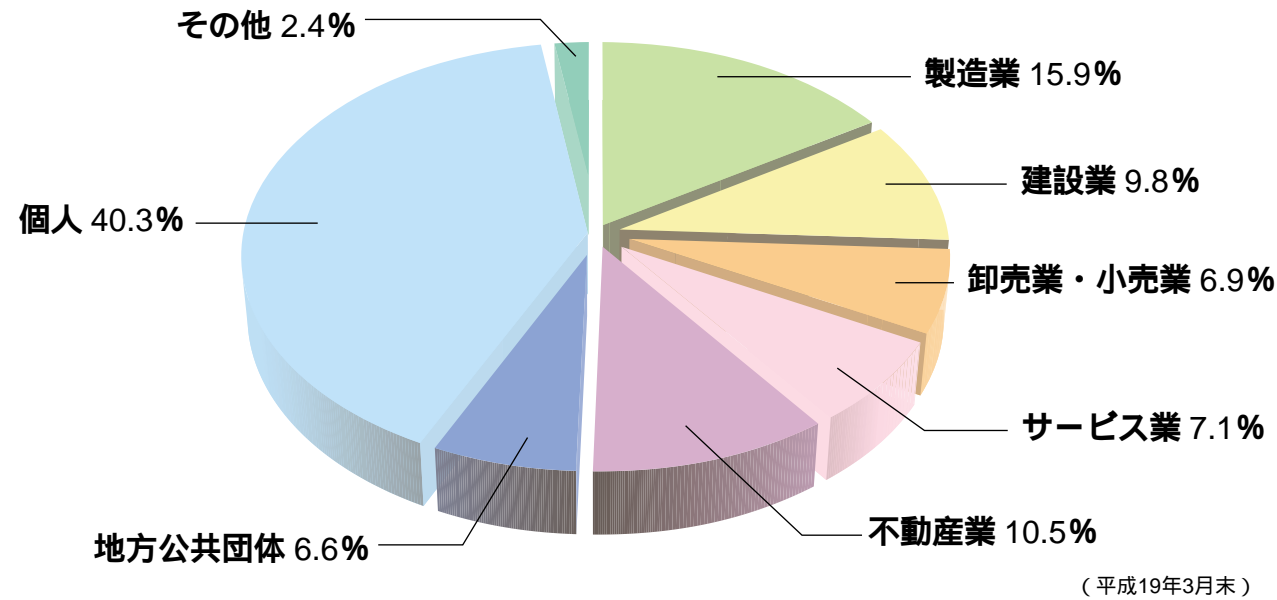


貸出金の業種別内訳

特定の業種に過度に集中しないよう業種分散に努めております。



有価証券の時価情報

リスクの少ない、安全な運用に努めております。

●その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区分	平成18年3月末					平成19年3月末				
	取得原価 (償却原価)	貸借対照 表計上額	評価差額			取得原価 (償却原価)	貸借対照 表計上額	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
株式	776	1,106	330	337	7	950	1,234	283	302	19
債券	41,658	41,016	642	88	730	42,842	42,467	374	123	498
国債	11,155	10,761	394	26	420	10,995	10,669	326	24	351
地方債	5,418	5,344	73	2	76	5,689	5,676	13	11	25
社債	25,084	24,909	174	58	233	26,156	26,122	34	87	121
その他	10,530	10,474	56	251	307	9,070	9,829	759	866	106
合計	52,965	52,596	368	677	1,045	52,863	53,531	668	1,292	624

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、決算日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「株式」には、時価がない株式(平成19年3月期は65百万円、平成18年3月期は109百万円)は含まれておりません。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 4. 上記の「その他」には、時価がないその他の証券(平成19年3月期は526百万円、平成18年3月期は604百万円)は含まれておりません。
 5. なお、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式はありません。

長岡信用金庫の現況 2007

平成19年版 ミニ・ディスクロージャー誌

自己資本比率は
11.70%です。

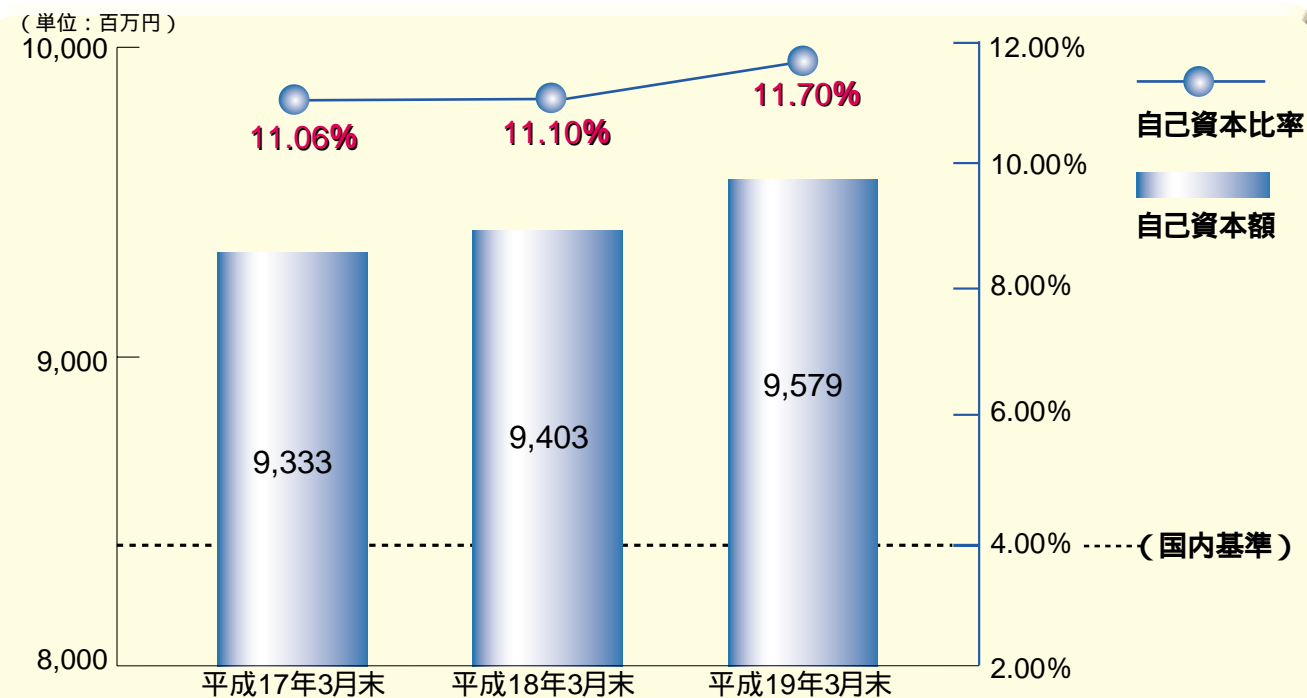
長岡信用金庫の概況

店舗数	17店舗
預金	1,603億円
貸出金	935億円
総資産	1,721億円
出資金	496百万円
会員数	17,270名
役員数	222名

自己資本比率の状況

●自己資本額と自己資本比率の推移(国内基準)

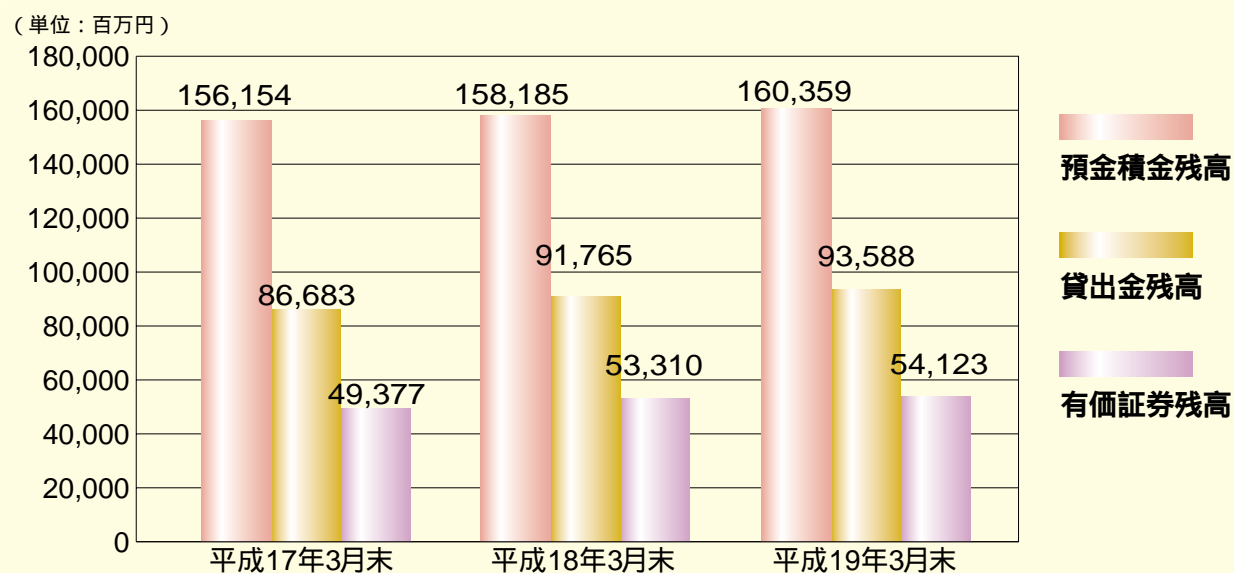
国内基準4.0%を大きく上回る11.70%です。



主要資産負債の状況

●預金積金、貸出金、有価証券残高の推移

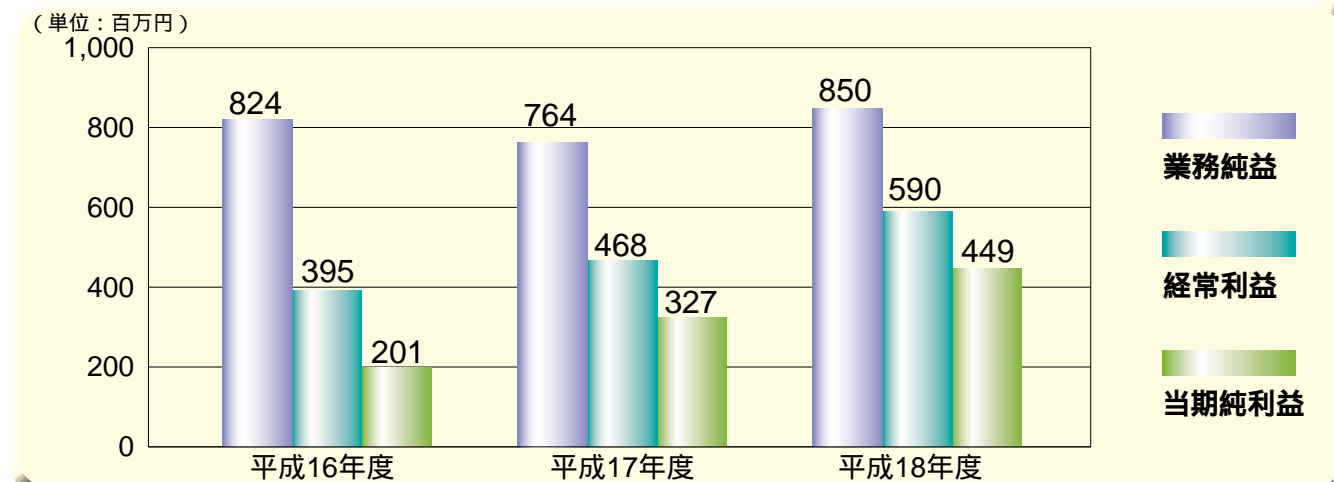
預金積金は21億円増加しました。貸出金は18億円増加しました。



収益の状況

●業務純益、経常利益、当期純利益の推移

業務純益は850百万円を確保いたしました。



・「業務純益」は、金融機関が本来の業務でどれだけの利益をあげたかを示す、一般企業の営業利益に相当する指標です。

リスク管理の状況

厳正な自己査定と適正な引当により健全性を図っております。

●金融再生法開示債権

(単位: 百万円)

区分	平成18年3月末	平成19年3月末	増減
不良債権合計(A)	6,199	5,050	1,149
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,658	1,113	545
危険債権	4,019	3,133	886
要管理債権	521	802	281
正常債権(B)	86,256	89,304	3,048
合計(C)=(A)+(B)	92,456	94,354	1,898
貸倒引当金(D)	935	954	19
貸倒引当金控除後不良債権合計(E)=(A)-(D)	5,264	4,095	1,169
貸倒引当金控除後不良債権比率(E)/(C)-(D)%	5.75%	4.39%	1.36%

不良債権

不良債権については、金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に規定する開示基準に基づき、以下のように区分し記載しております。なお、不良債権には担保・保証等により保全されたものも含まれており、それ自体がすべて損失となるものではありません。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再生又は支援を図り、当該債権の回収を推進することを目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定などを行った貸出債権)」に該当する貸出債権です。

正常債権

債務者の財政状況及び経営成績に特に問題ない債権です。

保全率

不良債権に対する「貸倒引当金」と「担保・保証等」の合計額との比率で、どれだけ不良債権の処理をしているかを表す比率です。

●金融再生法開示債権保全状況

(単位: 百万円)

区分	平成18年3月末	平成19年3月末	増減
保全額(F)	5,403	4,363	1,040
貸倒引当金(D)	935	954	19
担保・保証等(G)	4,468	3,408	1,060
保全率(F)/(A)%	87.15%	86.40%	0.75%
担保・保証等控除後債権に対する引当率(D)/(A)-(G)%	54.01%	58.15%	4.14%